
令和5年度
デジタル田園都市国家構想交付金
(地方創生推進タイプ)活用事業の実績

2024年7月
北海道石狩振興局

いしかり・ライフstyle魅力発信・若者定着促進事業

さっぽろ圏の共通課題である「若者の地元定着」と「首都圏からの人材還流」の促進に向け、地域協働で策定した「若者の地元定着促進プラン」を着実に推進するため、参加市町村等との連携により事業を実施し、その成果を関係機関が参画する協議会において検証の上、ノウハウを共有し、管内での横展開を図る。

札幌圏地元定住促進協議会設立運営による広域的な取組

(管内8市町村・北海道石狩振興局・有識者・ハローワーク・大学・金融機関、人材紹介会社等)

〔北海道（石狩振興局）の役割〕

●総合調整

地元定着促進プランの進捗管理、協議会運営、推進体制検討 など

●広域的な取組の実施、若者の定着促進に必要な各種調査の実施

大学生の地域活動支援事業、首都圏と比較した「いしかり・ライフstyle」を効果的に発信するPRの実施 など



「若者の地元定着促進プラン」に基づき、「若者の地元定着」及び「首都圏からの人材還流」を目指し、段階に応じた取組を展開

在学・就業準備期

就業活動期

就業後

若者対策

管内

首都圏

企業対策

- 「早期から地元を知る」機会の提供
- 「地元の愛着」醸成

- 「多様な選択肢」「管内で働く魅力」「管内で生活する魅力」の発信

- 「働き続ける」環境を整備

- 「起業」支援

- 「石狩管内と管内企業を知る」機会の提供

- UIターン「就職」促進
- 「石狩管内と管内企業を知る」機会の提供

- UIターン「転職」の促進

- 「情報発信力」の強化
- 「企業の魅力発信力」の強化

- 人材「採用力」の強化

- 人材「育成力」の強化
- 「中途採用力」の強化

若者定着・人材確保

令和5年度の取組実績

「若者の地元定着」と「首都圏からの人材還流」促進のための事業を実施

①大学生等がいしかり地域とのかかわりを持つことで、地元理解を深め、定住促進につなげる「大学等との連携による学生の地域活動支援事業」

○ 北海学園大学（13名）

- ・石狩地域における公共交通の需要喚起策の企画・提案
- ・「路線バスを活用した旅行プラン」をテーマに石狩市内で活動



○ 札幌学院大学（50名）※自走化モデル

- ・北広島市内の企業を調査、企業PR動画を作成・情報発信
- ・活動テーマや進め方など、一連の地域活動を大学主体の講義で実施



○ 公立千歳科学技術大学（6名）

- ・市役所窓口業務の効率化・DX化に関する企画・提案
- ・千歳市及び恵庭市と連携しながら地域の現状やニーズなどについて調査研究



○ 当別高校（156名）

- ・高校と地域が連携協働する「CLASSプロジェクト」及び石狩教育局との連携により、モデル事業として実施。
- ・「総合的な探求の時間」に地域関係者の協力を得て活動



<地域活動の様子>

②首都圏大学との連携による「首都圏大学生の地域活動支援事業」

□事業趣旨

首都圏からの人流還流及び地元定着を促進するため、首都圏の大学生とが石狩管内の大学生が共同で地域活動に取組、活動を通じて石狩地域とのつながりや親しみ・愛着醸成を図る

文教大学（埼玉県）（11名）×

星槎道都大学（7名）

- 学生が2班（①地域資源発掘、②生活体験）に分かれ、各種調査活動や石狩管内における現地調査（3泊4日）などを実施
- 「活動報告会（文教大・オンライン）」を開催・石狩地域のPR活動を合わせて実施



<大学生の地域活動の様子>

KPI	基準値（H30）	R2（1年目）	R3（2年目）	R4（3年目）	R5（4年目）	目標（R6）
○管内若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数	3,352人	2,399人	2,400人	2,782人	3,242人	3,139人
○学生等の事業参加者数	1,041人	1,720人	1,481人	1,031人	1,449人	1,300人
○セミナー等事業参加企業数	166社	294社	543社 （2か年累計）	826社 （3か年累計）	1,188社 （4か年累計）	668社 （5か年累計）